



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月23日

上場取引所 東

上場会社名 アツギ株式会社
 コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月2日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 工藤 洋志
 (氏名) 岡田 武浩

TEL 046-235-8107

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	11,518	△0.0	168	37.9	399	△3.0	299	△8.4
27年3月期第2四半期	11,520	2.5	122	△46.0	412	△4.6	326	37.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 80百万円 (△93.6%) 27年3月期第2四半期 1,251百万円 (36.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	1.78	—
27年3月期第2四半期	1.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	59,442	49,450	83.0
27年3月期	59,089	49,879	84.2

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 49,315百万円 27年3月期 49,744百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,100	2.8	500	138.3	700	△27.3	500	△26.3	2.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	188,195,689 株	27年3月期	188,195,689 株
28年3月期2Q	19,716,816 株	27年3月期	19,690,899 株
28年3月期2Q	168,489,393 株	27年3月期2Q	168,708,697 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府および日銀による経済・金融政策を背景に一部では企業収益や雇用情勢が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、消費税率引き上げ以降の消費マインドの減退傾向や、不安定な世界経済などの影響を受け、本格的な安定成長を実感するまでには至っておらず、引き続き先行き不透明な状況で推移をしております。

繊維業界においては、低調な個人消費や為替の影響による輸入コストの増加に加え、企業間競争が一段と激化するなど、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと当社グループは、中期経営計画「ATSUGI VISION 2017」をスタートさせました。原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、原材料高や中国における人件費高騰等のコスト増加など、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,518百万円(前年同四半期比0.0%減)、営業利益は168百万円(前年同四半期比37.9%増)、経常利益は399百万円(前年同四半期比3.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は299百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門はプレーンストックの主力ブランド「ASTIGU(アスティグ)」をはじめとするベーシック商品は引き続き順調に推移しましたが、ファッション商品やソックスの伸び悩みなどもあり、同部門の売上高は9,645百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

インナーウェア部門はスポーツインナー関連が順調に推移し、同部門の売上高は1,342百万円(前年同四半期比3.7%増)となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は10,987百万円(前年同四半期比0.2%減)、営業損失は74百万円(前年同四半期は105百万円の損失)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業は保有資産の有効活用などにより、当事業の売上高は329百万円(前年同四半期比5.6%増)、営業利益は250百万円(前年同四半期比7.0%増)となりました。

〔その他〕

その他の事業につきましては、介護用品の市場環境の変化などにより、厳しい状況が続いております。当事業の売上高は200百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業損失は7百万円(前年同四半期は6百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

当第2四半期連結会計期間末における総資産は59,442百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加439百万円等によるものであります。

負債の部は9,991百万円となり、前連結会計年度末に比べ782百万円増加いたしました。これは主に、未払金の増加759百万円等によるものであります。

純資産の部は49,450百万円となり、前連結会計年度末に比べ428百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益を299百万円計上しましたが、前期決算に係る配当金505百万円による減少や、その他の包括利益累計額の減少219百万円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は83.0%(前連結会計年度末は84.2%)となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益 377 百万円、減価償却費 514 百万円等がありましたが、たな卸資産の増加 863 百万円、売上債権の増加 388 百万円、および未払消費税等の減少 206 百万円等により、差引 556 百万円の支出となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入 546 百万円、有形固定資産の取得 385 百万円等により 737 百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、504 百万円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 1,741 百万円減少し、7,212 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成 27 年 5 月 15 日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成 27 年 10 月 20 日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 平成 25 年 9 月 13 日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 25 年 9 月 13 日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 平成 25 年 9 月 13 日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,538	8,095
受取手形及び売掛金	3,944	4,321
商品及び製品	3,776	4,720
仕掛品	2,365	2,194
原材料及び貯蔵品	727	652
繰延税金資産	50	97
その他	1,076	1,227
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	21,466	21,296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,879	5,747
機械装置及び運搬具(純額)	3,328	3,077
土地	16,456	16,427
建設仮勘定	267	1,118
その他(純額)	172	172
有形固定資産合計	26,104	26,543
無形固定資産	416	411
投資その他の資産		
投資有価証券	10,308	10,426
繰延税金資産	2	2
その他	790	762
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	11,101	11,191
固定資産合計	37,622	38,146
資産合計	59,089	59,442

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,816	2,858
未払法人税等	158	234
賞与引当金	120	118
繰延税金負債	120	67
その他	1,148	1,882
流動負債合計	4,364	5,161
固定負債		
繰延税金負債	1,185	1,169
再評価に係る繰延税金負債	1,951	1,951
退職給付に係る負債	1,272	1,296
その他	435	412
固定負債合計	4,845	4,830
負債合計	9,209	9,991
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	9,397	9,397
利益剰余金	5,753	5,546
自己株式	△1,924	△1,928
株主資本合計	44,931	44,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,218	3,235
繰延ヘッジ損益	562	430
土地再評価差額金	△550	△550
為替換算調整勘定	1,583	1,479
その他の包括利益累計額合計	4,813	4,593
非支配株主持分	134	135
純資産合計	49,879	49,450
負債純資産合計	59,089	59,442

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,520	11,518
売上原価	8,037	8,033
売上総利益	3,482	3,485
販売費及び一般管理費	3,360	3,316
営業利益	122	168
営業外収益		
受取利息及び配当金	105	112
持分法による投資利益	6	0
為替差益	186	131
その他	31	31
営業外収益合計	330	275
営業外費用		
減価償却費	6	6
租税公課	16	13
その他	17	23
営業外費用合計	40	43
経常利益	412	399
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	3	1
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産除却損	1	12
投資有価証券売却損	3	—
減損損失	—	11
特別損失合計	5	23
税金等調整前四半期純利益	410	377
法人税、住民税及び事業税	116	168
法人税等調整額	△31	△92
法人税等合計	85	75
四半期純利益	324	302
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	299

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	324	302
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	444	17
繰延ヘッジ損益	113	△132
為替換算調整勘定	342	△96
持分法適用会社に対する持分相当額	25	△9
その他の包括利益合計	926	△221
四半期包括利益	1,251	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,244	79
非支配株主に係る四半期包括利益	6	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	410	377
減価償却費	502	514
減損損失	—	11
のれん償却額	16	16
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△1
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△17	24
受取利息及び受取配当金	△105	△112
持分法による投資損益(△は益)	△6	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	0	△1
有形固定資産除却損	1	12
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△0
売上債権の増減額(△は増加)	△334	△388
たな卸資産の増減額(△は増加)	△144	△863
仕入債務の増減額(△は減少)	55	99
未払消費税等の増減額(△は減少)	55	△206
その他	△44	△60
小計	390	△578
利息及び配当金の受取額	104	112
法人税等の支払額	△233	△91
営業活動によるキャッシュ・フロー	261	△556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△186	△546
定期預金の払戻による収入	159	236
有形固定資産の取得による支出	△182	△385
有形固定資産の売却による収入	—	17
無形固定資産の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の取得による支出	△84	△101
投資有価証券の売却による収入	107	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189	△737
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△501	△501
自己株式の増減額(△は増加)	△24	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△526	△504
現金及び現金同等物に係る換算差額	154	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△300	△1,741
現金及び現金同等物の期首残高	8,033	8,954
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,733	7,212

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,005	312	11,317	202	11,520	-	11,520
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	-	3	-	3	△ 3	-
計	11,008	312	11,321	202	11,524	△ 3	11,520
セグメント利益又は損失(△)	△ 105	234	128	△ 6	122	-	122

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,987	329	11,317	200	11,518	-	11,518
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	△ 1	-
計	10,988	329	11,318	200	11,519	△ 1	11,518
セグメント利益又は損失(△)	△ 74	250	175	△ 7	168	-	168

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売および太陽光発電事業であります。なお、太陽光発電設備は建設中であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

自己株式の取得および消却

当社は、平成27年10月23日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項および会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得および消却を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主価値の向上を図るため。

(2) 自己株式の取得内容

- | | |
|-------------|---|
| ①取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ②取得しうる株式の総数 | 4,000,000株を上限とする
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.37%) |
| ③株式の取得価額の総額 | 500百万円を上限とする |
| ④取得期間 | 平成27年10月26日～平成28年1月20日 |

(3) 自己株式の消却内容

- | | |
|------------|---|
| ①消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ②消却する株式の数 | 15,000,000株
(消却前発行済株式総数(自己株式を含む)に対する割合7.97%) |
| ③消却予定日 | 平成27年10月30日 |